

小学校の環境学習

■赤とんぼ調査

勝山市では、全国的に激減している赤とんぼが、現在でも非常に多く見ることができ、希少な地域としての特徴を活かし、4年前から「赤とんぼと共に生きるプロジェクト」を立ち上げ、生物多様性の保全と環境保護の観点から、赤とんぼの発生数や移動ルートなどの調査活動を行っています。

今年市内全小学校が環境学習の一環として赤とんぼの調査に参加しています。



昨年の赤とんぼ調査の様子（三室小学校）

■各小学校の取り組み

勝山市の各小学校では、環境教育を中心としたESD（持続可能な発展のための教育）に積極的に取り組んでおり、それぞれ特色ある環境学習を中心に様々な活動を行っています。

- 今年予定されている内容の一部をご紹介します。
- 成器西小学校
ESDの一環として学年ごと勝山市の良いところ（自然・産業・文化）をまとめ、いろいろな形で市外へ発信していく。
- 成器南小学校
ホタルのさなぎの観察。ツバメの生態・分布等の観察とツバメマップ作成。
- 平泉寺小学校
池ヶ原湿原の保全活動およびヨシ刈り、ヨシ簾作り。地元のフキ採りと販売。
- 村岡小学校
北谷町でのミチノクフクジュソウの保全活動。
- 野向小学校
村岡山の自然観察と保全活動。全校高尾山登山で自然や地形、ふるさとの良さを学ぶ。どんぐりの植林活動。
- 荒土小学校
用水路の水質調査、バイカモの繁茂状況調査、ごみの清掃など。
- 北郷小学校
岩屋川での水に関する調



フランスギクの観察・駆除（鹿谷小学校）

■ユネスコスクール加盟

- 勝山市内の公立小学校9校と中学校3校がユネスコ（国連教育科学文化機関）が承認するユネスコスクールに正式に加盟しました。
- 自治体の公立小中学校がすべて加盟するのは県内初で全国でも数例です。
- 調査・学習。
バイカモの保全活動。
- 鹿谷小学校
外来生物等（オオキンケイギク、フランスギク）の分布調査・駆除。地域住民への呼びかけ。
- 三室小学校
川の生物調査・観察。
法恩寺山での赤とんぼ調査（親子行事）。



バイカモ（梅花藻）の観察（荒土小学校）

今後は国内外の加盟校と交流ができ、環境教育の幅が広がることで一層のESDの推進・発展が期待されます。

ユネスコスクールとは？

ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を实践する学校です。文部科学省および日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点として位置付けています。世界180か国で約1万校が加盟しており、日本国内の加盟校数は、575校（H26年2月時点）で、1か国当たりの加盟校数としては、世界最大となっています。

「勝山エシマイン」エシマム

第27回

ユネスコスクール加盟とこれからの活動

■ESDの推進

勝山市の全小中学校がユネスコスクールに正式加盟しました。ESD（持続可能な発展のための教育）を推進していくこととなります。子どもたちが将来生きていくうえで必要な力をつけることも、より良い社会づくりを担えるような教育をすることが目的です。

さて、つい先日、勝山市はこのままの人口流出が続く場合、2040年までに人口が今より約1万人減少するうえ、特に子どもを産める女性が減ることから消滅の可能性があると指摘されました。ESDは勝山市そのものの持続可能性を高めるうえでも、重要なものになると思います。

■勝山の魅力を知る

具体的には、子どもたちが身近な魅力や課題を発見し、勝山で生きること誇りを持

つことと、さらに勝山を良くするために、大人に発信し、自ら行動できることを目指しています。

例えば、大人には当たり前であった赤とんぼやホタルは、子どもたちの自慢になりつつあります。全国で激減しているのに、赤とんぼは勝山ではたくさん生息しており、子どもや市民調査員による保全活動が全国的に有名になりつつあります。

■ホタルの魅力

また、6月21日にはホタルサミットと呼ばれるホタル研究の全国大会が行われるほど勝山にホタルが多いことをご存知でしたか？10種ものホタルが生息し、福井で最もゲンジボタルが多い場所の1つが勝山であることもご存知でしたか？ホタルだけでも観光資源になり得るのです。

■子どもたちの活動

大人はどうする？

一方、大人が残した課題を子どもが解決する活動もESDの1つです。

例えば河川のごみは、いまだに大半が大人によって故意に捨てられています。大人が捨てたごみを子どもに拾わせる地域に、子どもが住みたいと思いますか？

そこで、子どもたちは自らの手で勝山をもっと住みよくするために、「大人にごみを捨てさせない活動」を推進しています。また、外来種駆除も、本来の勝山を取り戻すうえで重要な活動です。

子どもから学び、子どもと一緒に良い勝山にする活動を行うことこそ、勝山の持続可能性を高める第一歩です。よろしくお願ひします。



外来生物の駆除

■オオキンケイギク

フランスギクが大繁殖もともと勝山には存在していなかった外来生物は、その繁殖力の強さから在来種の生育を阻害し、悪影響を及ぼす植物です。

市民の皆さんのご協力により、外来生物の駆除が少しずつ進んでいますが、引き続き駆除にご協力ください。できる限り花期（種子ができる前）に、一本一本根から引き抜き、ごみ袋に入れて燃やせるごみの日に出してください。



フランスギク



オオキンケイギク

全国ホタル研究会 開催のお知らせ

第47回全国ホタル研究会福井県かつやま大会が次の日程で開催されます。

期間▼6月20日(金)～22日(日)
会場▼教育会館、市民会館他

※6月21日(土)は、市民の皆さんも無料でご参加いただけます

日程▼21日(土) 市民会館
(勝山高校日本文化部)
午前9時30分～

小学生による活動発表
(鹿谷小学校参加)
午前10時45分～

研究発表
午後1時～

浄土寺川のホタルを守る会会長 松山信裕

TEL 87-0553

